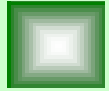


軽井沢町地方創生総合戦略（素案）へ寄せられた  
パブリックコメントの内容と町の考え方

軽井沢町



## パブリックコメントの概要と結果

第5次軽井沢町長期振興計画基本構想・前期基本計画を策定するに当たり、パブリックコメントを実施しました。

- |             |  |
|-------------|--|
| <u>期 間</u>  | 平成28年2月5日（金）から平成28年2月19日（金）まで                  |
| <u>公開資料</u> | 軽井沢町地方創生総合戦略（素案）                               |
| <u>募集方法</u> | 町のホームページに掲載するとともに、企画課の窓口に戦略（素案）を設置し、意見を募集しました。 |
| <u>募集結果</u> | 個人2人の方から4件のご意見を受理しました。                         |



## 寄せられたパブリックコメントと町の考え方

No.	該当ページ	寄せられたパブリックコメントの概要	町の考え方
1	全体	<p>○まずはあるべき戦略人口をいかに確保するか課題。</p> <p>○2万人前後の人口とその高齢化から見ても戦略人口を捻出するのは無理があるように思われることから、大都市圏の企業・施設・仕事をバックにした戦略人口を軽井沢町に導引することが必要。</p> <p>○戦略人口を確保するには、就労環境（ネット環境を含む）・住環境・教育環境等を整備する必要があり、そうした軽井沢町の政策が統合的に推進されることにより、観光も含めた軽井沢町の将来がある。</p>	<p>○戦略人口の確保について、貴重なご意見ありがとうございます。戦略人口の達成に向け取り組んでまいります。</p> <p>○ご指摘のとおり、戦略人口の確保に向けては町外（特に大都市圏）からの企業・施設・仕事を導引（誘致等）することは重要な視点です。本戦略においては、自然環境との共生に重点を置くことによる個性を打ち出し、少子高齢化が今後大きな課題となることから人口構造を長期的視点から考え、子育てしやすい環境の整備など、少子化対策に可及的速やかに着手・推進していくことが重要であると考えています。</p> <p>○就労環境（ネット環境を含む）・住環境・教育環境は、まちづくりにおいてそれぞれ重要な施策となります。さまざまな分野の取り組みにつきましては、いただいたご意見を参考に、総合戦略の上位計画にあたる「第5次軽井沢町長期振興計画」を踏まえつつ、統合的な推進を図っていきます。</p>
2	P 9	<p>○軽井沢産の既存の高原野菜や新たな農産物について、J Aと協力し、地元のホテル・レストラン等での消費や、加工品の生産を促進すべき。</p> <p>こうした新しいチャレンジのために、新規就農者の住居を確保し、安定した所得を補償する必要がある。</p> <p>また、住居の確保については空家や使用されていない別荘を、自分で改造し住むことができるシステムを作ってはどうか。</p>	<p>○新たな軽井沢ブランド戦略として「食」は最大の魅力の一つであり、それを支える農業等の産業の発展は非常に重要であると考えています。</p> <p>P 9 施策の枠組み2「ブランド力の基盤となる産業の振興」で示しているとおり各事業の連携を図りながら「軽井沢町農産物等直売施設軽井沢発地市庭」を中心とした6次産業化を推進してまいります。</p> <p>住居の確保について、町はコンパクトシティを目指しており、基本的に保養地域内にある別荘への定住を促進するものではありません。</p> <p>農業の発展や新規就農の促進に対する支援については、総合戦略で示すように町として今後も推進していく予定であり、ご提案いただいた内容は、事業の具体的な実施段階において、参考とさせていただきます。</p>

No.	該当ページ	寄せられたパブリックコメント	町の考え方
3	P 1 0	<p>○旧軽井沢銀座の店舗について、安売りの店や他の観光地で購入可能な商品は不要。</p> <p>○次世代のアーティストや作家の工芸品・服・焼き物の販売を町でバックアップする。</p> <p>○世界各国の方が暮らす軽井沢ならではの料理を販売する。カレーやラーメンについても、軽井沢独自のルールを設定し、飲食店やホテルで提供するとともに、スタンプラリーでオリジナルの器をプレゼントする。</p> <p>○しなの鉄道沿いの空き地を整備し、無料駐車場にする。有料の場合は循環バスを無料化。また、歩道がない部分の整備を進める必要がある。</p>	<p>○貸店舗等の所有者が町外の個人・企業が多く、出店に際しての審査ができないことから、町主導での規制等は難しいものがありますが、商店会等地域のコミュニティでその地域らしい店舗・景観等を含めた方向性を定め、共通認識としていくことができればと考えます。</p> <p>○観光産業を中心に発展してきた当町において、観光を支える飲食サービス・小売業等のバックアップは重要なものとなります。 P 9でお示ししているとおりの新規就業者に対し多様な支援を検討することとしております。その中で創作者等の支援も一つの選択肢として参考とさせていただきます。</p> <p>○P 1 0でお示ししているとおりの新たな軽井沢ブランドの推進は重要な施策となります。商工会で軽井沢ブランドの認定を行うほか、町内の飲食店が集まりカレーを復活させた例もあります。ルール等の設定は町が行うべきかを含め参考とさせていただきます。</p> <p>○P 1 2で示しているとおりの公共交通機関の利便性の向上につきましては、交流人口増加のためにも町として今後も推進していく必要のある事業です。 駐車場についてはしなの鉄道の駅周辺にそれぞれ駐車場を設置し無料時間を設定しております。現在の循環バスは廃止路線バスの代替えを基本とするものであり、本来バス事業者が運行しているものとなります。 現状では、利用者の受益者負担としての有料化は避けられないと考えます。また、歩道について、新規道路につきましては歩道を設置することとしておりますが、既存道路については、国道を含め用地取得が難しいこともあり、グリーンベルト設置での対応としております。</p>

No.	該当 ページ	寄せられたパブリックコメント	町の考え方
4	P 1 7 P 1 9 P 2 0	<p>○湯川のふるさと公園は、倒木等があり、未完成な印象である。川釣りができるように整備してはどうか。</p> <p>泥川の釜の淵等、水の流れがよくなるようにする等、発地川のホタルに続き町中の川を整備し、どこの川でもホタルが見られるようにしてはどうか。</p> <p>○サイクリングに適した道路を整備する。また、バイパス沿いの道や町道の路肩の雑草を、地域で分担して定期的に除去し、スイスを参考に町中に花を植えてはどうか。こうした取組により、郷土愛にもつながると考えられる。</p> <p>○ガーデンハウスを増加し、巡回ツアーを実施してはどうか。</p>	<p>○湯川ふるさと公園は整備計画に基づき整備を行い平成18年度に完成し供用開始となっております。一級河川は県の管理部分となりますので県に要望してまいります。町管理部分につきましては、事業の具体的な実施段階において参考とさせていただきます。</p> <p>○18号線バイパスの整備については国道事務所へ要望を行っており、引き続き要望活動を行ってまいります。P9の軽井沢高原を美しくする会では「花いっぱい運動」を町内の幹線道路沿いで行っております。また、町道については現在道路清掃を行っているほか、各地区において清掃活動を行っていただいております。郷土愛の育成は基本目標4で示した参画・共同による安心・安全な地域づくりにより推進いたします。</p> <p>○観光協会が主催し、オープンガーデンを実施した経過がございます。</p>